

清和中便り

令和6年5月14日
文責 校長 山本祥博

戮力協心（りくりよくきょうしん）

清々しい空、透明感のある空気、日に日に濃さを増す若葉の色。いよいよ体育大会ウィークとなりました。今年も毎日早朝からグラウンド整備をする松本先生。その姿を見て、すぐに駆けつけ一緒になって整備をする職員。さらには、運動場の先生達を見つけ、届くように大きな声で挨拶する生徒達。ありがたくほほえましい朝の時間をもらいます。

雨によるグラウンドコンディション不良のため運動場での練習ができない状況が続きましたが、4日後の体育大会に向けて、限られた時間と環境の中、生徒職員一丸となって頑張っています。昨日は、応援演舞を発表し合う中間発表の場が設定されました。終わって3年担任の丹生先生に3年生の様子を尋ねたところ「まだまだできるはずです。負けた団の女子は悔しくて涙を流していました。」と話してくれました。負けたことが悔しいのか、自分たちの目指す演技ができないことが悔しいのか、力を出し切れていないことが悔しいのか分かりませんが、一生懸命やっているからこそ悔し涙も出ます。「悔しさは次への原動力」。自分たちの可能性を信じて、優勝という目標に向かって「挑戦し続ける生徒」であってほしいと思います。

美化作業大変お世話になりました

先日は、雨によるグラウンドコンディション不良のため、一日延期したにもかかわらず、美化作業に多数ご参加いただきありがとうございました。毎回のことながら生徒数を超える保護者の方に集まっていたいただき、普段なかなか手が届かないところまで美しくしていただきました。また、当日参加できないということで前日に作業しに来ていただいた方、連休中にグラウンドの草刈りをしていただいた方もおられ、感謝の気持ちで一杯です。体育大会当日は、保護者の皆様に整備していただいた舞台で自分の持てる力を思い切り出してもらいたいと思います。本当にありがとうございました。

体育大会スローガン『戮力協心』とは

「今年の体育大会スローガンは『戮力協心』です。」

まず思ったのが、「これ何と読むの？」でした。「りくりよくきょうしん」。意味を調べると「全員の力を結集し、一致協力して任務に当たること。「戮」には「合わせる、一つにする」という意味がある。」ということを知りました。

「戮力協心」心を一つにベストを尽くしてほしいと思います。



before



after

